

# 平成 28 年度「大阪市英語力調査」(「英検 IBA」)に おける梅香中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、大阪市教育振興基本計画\*に基づき、英語イノベーション事業\*の一環として、「大阪市英語力調査」(「英検 IBA」)を実施いたしました。この調査の目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることです。

学習指導要領における中学校英語の目標は、「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う」と示されております。本調査で測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目的
- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
  - (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対象 大阪市立全中学校 生徒 1～3年生

※本校では

3年生 161人 平成28年11月7日(月)実施

2年生 152人 平成28年11月7日(月)実施

1年生 164人 平成28年11月7日(月)実施

3 内容

学年	英検 IBA の種類	英検 (目安)	テスト内容		満点スコア
			リーディング問題	リスニング問題	
3年	テストC	英検準2～5級レベル	35題	30題	1100点
2年	テストD	英検3～5級レベル	35題	30題	1000点
1年	テストE	英検4級・5級レベル	35題	25題	800点

\*大阪市教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

\*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

## 平成28年度 「大阪市英語力調査」(「英検 IBA」)の結果の概要と今後の取組 梅香中学校

## ■ 調査内容

学年	英検 (目安)	テスト内容		満点 スコア
		リーディング問題	リスニング問題	
3年	英検準2級～5級レベル	35題	30題	1100点
2年	英検3級～5級レベル	35題	30題	1000点
1年	英検4級・5級レベル	35題	25題	800点

## ■ 調査結果

【「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の値は分野別平均正答率(%)】

3年	学校平均スコア(点/1100点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検3級レベル以上の割合(%)
	692点	49.1%	48.7%	44.3%	22.4%
	市平均スコア(点/1100点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検3級レベル以上の割合(%)
	723.9点	54.0%	56.6%	51.1%	38.9%
2年	学校平均スコア(点/1000点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検4級レベル以上の割合(%)
	622点	61.0%	52.0%	55.5%	50.0%
	市平均スコア(点/1000点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検4級レベル以上の割合(%)
	650.6点	64.1%	58.4%	61.8%	61.4%
1年	学校平均スコア(点/800点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検5級レベル以上の割合(%)
	460点	54.2%	37.6%	54.4%	70.7%
	市平均スコア(点/800点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検5級レベル以上の割合(%)
	509.2点	63.7%	50.0%	61.6%	80.6%

## ■ 結果の概要と今後の取組について

学年	結果の概要と今後の取組
3年	本校の平均スコアは大阪市のそれと比べ30点以上下回っている。なかでも、「読解」「リスニング」の分野では、大阪市平均正答率と比べ5%以上の開きがある。これらの分野の正答率を向上させるために、授業内でリスニング練習の回数を増やし聞き取る能力を高める。また、毎時間の導入部分で長文の音読を継続的に行い、英語に慣れ親しませる。
2年	「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の3分野において、大阪市の平均正答率を下回っている。特に「読解」「リスニング」力が劣っているのは、落ち着いて文章を読んだり聞いたりすることが苦手な生徒が多いように考える。今後、毎時間行う授業中の小テストで、語い・文法の問題だけではなく、文章読解やリスニングの問題を追加し学習させる。
1年	「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の3分野において、大阪市の平均正答率を下回っている。特に「読解」での大阪市との得点差が大きい。そのために、文章読解の時間を増やし理解を深めるとともに、英語力を高めるため、C-NETを活用し英語に慣れ親しませる取組を進めていく。